



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

トムソン・ロイターのファイナンシャル・リスク部門の名称はRefinitiv(リフィニティブ)に変わりました

知りたい
投信 なるほど
リッパー

ETFの長所短所を一刀両断①

知っているのはわずか4分の1

このコラムの読者のみなさんは、投資信託に関心がある方が多いと思います。「ETF(上場投資信託)」もおなじみだという方もいらっしゃるでしょうが、一般にはよくわからない存在のようです。投資信託協会は、「2019年(令和元年)投資信託に関するアンケート調査(NISA、iDeCo等制度に関する調査)」で投資をしていない人も含めた2万人に意識調査をし、今年3月に報告書をまとめました。

前も商品の内容も知っている人は全体の8.7%で、名前は知っているが商品の内容はよく分からないという人が16.3%でした=グラフ。両者を合わせた「認知層」は25%で、4人に1人しかETFを知らないのです。

私はこの調査結果から、ETFは投資家の好みに分かれる金融商品だと感じました。

ETFは、元本保証ではありません。認知層の6割強が元本保証でないことを知っていました。

これによると、ETFの名

興味深いのは、これを不満

ETFを知っているのは4人に1人だけ

名前も商品の内容も知っている 名前を知っているが、商品の内容はよく分からない

投資信託協会「2019年(令和元年)投資信託に関するアンケート調査(NISA、iDeCo等制度に関する調査)」から



に思うかどうかです。現在ETFを保有していて、元本保証なしを不満と感じる人は15.5%=表。これ以外の人には、元本保証でないことを受け入れ、不満に思わずに保有していると思われます。一方、ETFの内容を知っている人と、過去にETFの保有経験があって今は投資していない人を合わせたグループでは、19.1%の人が不満だと感じていました。

また、ETFは国内外の株式や債券などの市場の値動き

に連動します。1社に投資する株式取引と違い、分散投資でリスク低減が期待できます。一見、長所のようなのですが、「株式に比べて面白さに欠ける」と不満にもなるのですね。「リターンが低い」のは分散投資の裏返し。これが不満で投資しない人もいるでしょう。次回からは魅力について詳しくお伝えします。

「ETFの長所短所を一刀両断②」は6月19日に掲載します。

■個人投資家はETFにどんな不満を感じているか

不満の内容	ETFの内容を知っている、保有経験がある人	現在ETFを保有している人
リターン(収益)が低い	27.5	26.9
仕組みや運用実績がわかりにくい	24.8	21.8
専門知識がないと商品を選びにくい	22.6	16.3
株式に比べて面白さに欠ける	21.9	20.9
分配金が少ない	21.7	26.1
元本保証がない	19.1	15.5
種類が多く選択に迷う	19.0	22.9
購入後の運用に関する情報が少ない	17.2	17.2
手続きがわずらわしい	7.9	6.0
その他	1.3	1.4
わからない・特になし	25.9	28.1

数字は%で重複回答。投資信託協会「2019年(令和元年)投資信託に関するアンケート調査(NISA、iDeCo等制度に関する調査)」をもとに筆者がまとめた。回答数は「ETFの内容を知っている、保有経験がある人」が1781人、「現在ETFを保有している人」が349人